



鶴嶺中学校だより



学校だより NO8
令和6年10月3日
校長 阿部 知宏

今こそ節電や消灯の意識を大切にしたい。温暖化を少しでもしずめたい。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、今年は「猛暑日は彼岸まで」とでも言うような日々が続いていました。9月に入っても気温や湿度も相当高い日があり、日中の「暑さ指数」が「危険」を示す日も数日ありました。ここ最近では、ようやく涼しさを感じるようになってきましたが、この後も予報によれば最高気温が30度に迫る（場合によっては超える）日があり、まだまだ油断はできません。

ゲリラ豪雨や線状降水帯の発生も頻発し、台風の勢力も強くなっているように感じます。これらの現象はもはや「異常気象」ではなく、極端な大雨や暑さなども当たり前の時代になってしまったように思います。

その一方で、今の日本社会は、特に暑さに関しては、この猛暑を何とか乗り切ることには精一杯という感じで、温暖化対策よりも熱中症予防に力が注がれているように感じます。勿論、熱中症は命の危険を伴うものですので、最優先に考えなければならないことはその通りなのですが、温暖化を防ぐためのアナウンスが政府もマスコミからもあまり聞こえてこないと感じているのは私だけでしょうか？

各個人やご家庭での節電等の意識はとても大切で、一人の行動では大した効果はないものの、地球上の多くの人たちができることを意識することで大きな力が生まれることも事実だと思います。特に、「毎日の様に電気やガスを使い、綺麗な水を飲むことができ、車に乗りエアコンの中で仕事ができる」一部の地球上の人たちの行動と意識はとても重要です。この機会に、私たち自身の意識や行動を振り返ってみたいものです。

10/11（金）通知表をお渡しします。今の自分を知り、今後の原動力としてください。

前回の「学校だより」でもお伝えしましたが、定期テストの結果や通知表の評価・評定は、その時点でのその人の持つほんの一部の力を示しているに過ぎません。そして、その力はこれからどんどん変化していくものです。ですから、それらの結果だけに一喜一憂するのではなく、その情報から今の自分自身の状況を知り、自分の弱点を克服したり得意分野を更に伸ばそうとしたりするなどして、自分自身を変えていくことに役立ててほしいと思います。因みに、今年度より通知表から「出欠の状況」欄が削除されました。「出欠の状況」は、昨年度と同様、事前に別紙で配付し確認をお願いすることになっています。

合唱祭(10/23)。午前は1年生のみ、午後は2年、I組、3年生の合唱です。

(1) お子様の所属する学年の合唱のみの参観とさせていただきます。(午後の部「2年、I組、3年」の後半「I組と3年」は1つの所属として考えます。)

(2) 2回の入替にご協力ください。

第1回入替 午前の部（1年合唱）終了後、全員の退席をお願いします。午後の部の2年、I組、3年生にお子様がいらっしゃる保護者様も退席してください。荷物等を置くなどしての席取りはしないでください。（忘れ物として撤去します。）

第2回入替 午後の部の「2年合唱」終了後、I組、3年生保護者様との入替を行います。「2年合唱」を参観された方で、I組や3年生にもお子様がいらっしゃる保護者様はそのままの席で構いません。

(3) 昨年同様、2年保護者の皆様は表彰式を観ることができません。

- ①昨年度の反省等でご意見をいただきましたが、どうしてもご要望にはお応えできないと判断いたしました。誠に申し訳ありません。詳しくは右ページをお読みください。
- ②今年度は、表彰式のビデオを学校のHPに掲載するとともに、2年生の成績については、COCCOで当日配信したいと考えております。

【表彰式の保護者参観の考え方と判断した理由】

前号の「学校だより NO7」では、合唱祭を2部構成とせざるを得ない状況をご説明させていただきました。そして、今回は、左ページ(3)の件についての学校側の考え方等についてお伝えしたいと思います。

合唱祭は、教員による文化的行事委員会が企画、検討等を行い、生徒による実行委員会が実際の運営等を担っています。今年度の合唱祭は、保護者の入替時や駐輪場等にも担当教員を配置したり、受付の方法を簡素化するためにチケット制にしたり、生徒の入場方法を変更したりする等、昨年度の反省を活かしたものになっています。そして、特に大きな課題として検討したものが「昨年度、2年生の保護者だけが当該学年の表彰式を観ることができなかつた」ことへの対応策でした。

そして、文化的行事委員会が導き出した改善策は、どの様に工夫しても2年生保護者の皆様の表彰式参観が難しいため、「保護者参観の平等性を第1に考え、I組及び全学年すべての保護者の表彰式参観はなしにしよう」というものでした。

この改善案を受けて、私、校長は次のように考えました。まずは、3年生ですが、3年生は鶴嶺中学校の最高学年であり中学校最後の合唱祭です。そして、3年生の保護者の皆様が合唱祭で中学校3年生のお子様の姿を観ることができる最後の機会となります。つまり、3年生はやはり特別なのです。また、午後入替わり後は、I組と3年生保護者の皆様が、プログラムのにも自然な流れとして表彰式を観ることができる状況です。

この様なことから、各学年等の平等性を確保するためにI組と3年生保護者の皆様を表彰式前に(わざわざ)退場していただくことはいかがなものか、(しかも、昨年度も今の3年生保護者の皆様が表彰式を観ることができていない)という思いが強くなり、まずはI組と3年生保護者の退場はなしにすべきと判断しました。

次に、2年生ですが、表彰式への2年生の保護者参観を可能とするためには、2年及びI組と3年生が合同で実施する午後の第2部において、2年生が歌い終わったところで直ぐに採点、集計を行い表彰式の準備をして式を実施することが求められます。採点や集計は他の学年でも合唱が終わったところで速やかに行いますが、その時間を含めて式の準備と実施にはそれなりの時間がかかります。昨年度よりも学級数が増えたうえに、表彰式の回数を増やすだけの時間的な余裕は、現実的には相当難しいと判断しました。

そして、1年生ですが、午前の部は1年生の生徒(I組の1年生を含む)と保護者の皆様のみが参加することから、プログラムのにも自然の流れで表彰式を保護者の皆様が参観することができる状況です。

以上の様な各学年等の状況のもと、平等性を確保することを目的とした全保護者に表彰式前に退場していただくという文化的行事委員会の考え方は、I組と3年生の保護者には参観していただくとした時点で、その判断根拠は崩れてしまっています。それなのに、曖昧化した根拠により参観が可能な1年生の保護者の皆様まで退場していただくことは、理にかなった判断なのか。その一方で、参観できない2年生の保護者の皆様のことを改めて考えると、迷いは深く決断をすることは容易ではありませんでした。

この時、私が意識したことは、合唱祭だけでなく学校全体の教育方針に立ち戻ることでした。そもそも、本校は体育祭や合唱祭、そして各学年等で実施するレクレーション等の実施において、また、年間3回の公開授業週間や授業参観等を通じて、できるだけ学校の様子を保護者の皆様に公開することを大切にしてきました。来年度の体育祭日程は検討中ですが、体育祭の休日実施や土曜参観日の継続にもこだわってきました。

この学校の方針をベースとして、合唱祭のこの問題の対応をじっくりと考えた時、曖昧な平等性の確保を根拠として、表彰式を観ることができる保護者の皆様を退場していただくことは、やはり避けるべきであるとの結論に至りました。2年生の保護者の皆様には誠に申し訳ありませんが、この様な状況の下での判断であることを是非ともご理解くださいますようお願いするとともに、心からお詫び申し上げます。